

会 議 報 告 書

1 会議名	令和3年度第2回北上市子ども・子育て会議		
2 日 時	令和4年2月4日（金） 午後3時から4時まで	3 場 所	北上市保健・子育て支援複合施設 h o K k o 1階けんしんホール
4 出席者	【委 員】13名（別紙名簿のとおり） 【事務局】5名（市長、健康こども部長、子育て支援課長、課長補佐、保育係長） 【傍聴者】2名（報道機関）		

開会に先立ち、任期満了に伴って委員全員に新たに委嘱状を交付した（1名が代表受領）。

【内 容】

- 1 開 会
- 2 挨 拶 （北上市長）
- 3 会長選出
- 4 説 明 （子ども・子育て支援事業計画及び委員の職務内容について）
- 5 議 事 （会長進行）
- 6 その他

○ **会長選出**
事務局一任との意見があり、事務局案である今西界雄委員が満場一致で会長に選出された。会長から、佐藤仁実委員が職務代理者として指定された。

○ 委員15名中13名の出席、過半数の出席があり本会議が成立すること報告。

○ **議事**（北上市認可保育施設の利用定員について）【資料1】

【説明の要旨】

- ・第2期子ども子育て支援事業計画P77教育・保育の量の見込と確保方策について説明
- ・令和3年度利用定員、利用児童数、充足率について 資料1の1枚目のとおり
- ・本日協議する利用定員の変更 資料1の2枚目

令和3年度4月時点の事業計画数3,568名に対し、実数3,508名で比較すると60名少ないが実際の利用は令和3年4月時点で3,027名、令和4年1月時点でも3,156名、予定に比べて350名の余裕がある状態。保育は一部施設を除き100%に近い充足率で、空きは1号（幼稚園部分）で多く発生している。

令和3年4月の時点で待機児童がゼロとなった。しばらく4月は待機児童が必ず何名か発生していたが、待機児童ゼロとなったのは、施設整備もあるがコロナ禍における出生数の減少も大きく影響しており、利用児童数が少なかった。今後の計画については、コロナの影響も踏まえながら考えていきたい。

定員変更（今回協議部分）

【令和4年度】

- ・おにやなぎ保育園が認定こども園に移行 幼稚園部分5名拡充、保育部分はそのまま。
- ・いわさき認定こども園 定員100名を90名に減。
- ・認定こども園いいとよ保育園 教育部分10名を15名に増。
- ・認定こども園専修大学北上幼稚園 令和3年幼稚園から移行。継続児の卒園に伴い教育3名、保育12名の減
- ・小規模保育事業所 大堤ぼけっと保育園 保育士確保困難のため19名を12名に減。

令和4年度の定員は3,558名で今年度から50名の増。

【令和5年度】

事業所内保育事業所 ひたかみ保育所 従業員の枠と地域のお子さんのための枠を用意し
従業員のお子さんが優先利用できる施設。従業員の利用が減少し、地域枠に開放していた
が令和4年度末の閉園。40名の減。

【令和6年度】

北上保育園についての情報提供 現在0～2歳児の施設だが、園舎新築して0～5歳児まで
預かる施設として考えている。定員が決まり次第追って協議予定。

【質疑】

・事業所内保育事業所ですが、現在83%の充足率があるが、令和4年も落ち込むことを見越
しての閉所ということか。

⇒はい。地域枠従業員枠を含めて定員を大きく割れることが一次調整の結果がわかり、

令和4年度末をもって閉めたいとの意向。

利用定員の設定について提案どおり承認

○その他

【情報交換】

・昨日の新聞で豊かに見える日本で子どもの7人に1人が貧困状態。北上市の現状は。

⇒平成29年度に北上市で子どもの生活実態調査を行い、結果をまとめている。

北上市の貧困率は9.6%。これを改善するため、貧困対策の推進している。

第2期子ども子育て支援事業計画のP62に掲載。

・困っている家庭について、市の担当者だけが動くのではなく、横のつながり縦のつながりで、
これからもうきうきわくわくするようなまちづくりのために、みなさんと共有していきたい。

⇒貧困対策について、子育て支援課、子育て世代包括支援センター一緒になって進めていかな
いと思っている、調査後の取り組みがなかなかできていない部分もあり、改善につながる
ような取り組みを考えていきたいので御協力をお願いします。

【部長から】

- ・子育て世代包括支援センターの設置の経緯について
- ・新型コロナ関連の情報、従業員（保護者）の休暇取得と環境整備について【資料2】
- ・子どもの未来投資枠3億円の事業の概要